

大豆技術情報 第2号

令和元年6月
なはな農業協同組合
富山農林振興センター

単収 200kg/10a 以上の確保、大粒比率向上に向けて

本年は天候に恵まれ、播種作業は概ね順調に行われました。
 今後は『培土作業』や『排水対策』等の基本技術を徹底し、初期生育を確保しましょう。
 また、培土後は発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう。

1 培土

1回目は遅れずに、2回目は確実に！

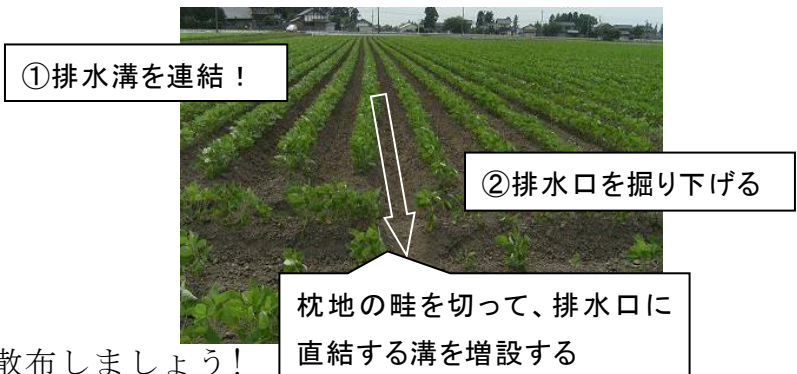
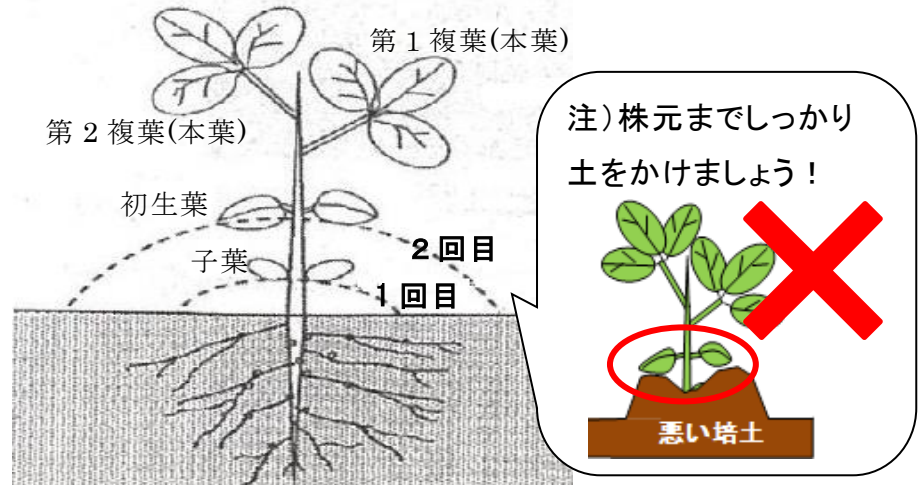
○培土の時期と高さ

	時期	高さ
1回目	本葉2～3葉期 (播種後20～25日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4～5葉期 (播種後30～35日頃)	初生葉が埋まる程度

○培土作業のポイント

- ◆培土作業は、ほ場条件の良いときに、晴れ間を見て早めに実施しましょう
- ◆作業前に、培土板や耕うん爪を必ず点検しましょう
- ◆適正な作業速度で、株元にしっかり土をかけましょう
- ◆培土でできた溝は額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、排水が速やかに行えるようにしましょう

1回目培土時の大豆(本葉2葉期)



2 雑草防除

雑草の種類を確認して、雑草に薬剤がしっかりかかるよう散布しましょう！

対象雑草	薬剤名	10a当たり使用量 (希釈水量)	使用方法	使用時期	使用回数
1年生 イネ科	ポルトフロアブル	200～300ml (100ℓ)	雑草茎葉散布	イネ科雑草3～10葉期 収穫30日前まで	1回
1年生 広葉	大豆バサグラン液剤	100～150ml (100ℓ)	雑草茎葉散布	大豆2葉期～開花前(雑草6葉期まで) ただし収穫45日前まで	1回
		300～500ml (100ℓ)	畦間雑草 茎葉散布	大豆の生育期(雑草6葉期まで) ただし収穫45日前まで	
1年生 雑草	バスタ液剤	300～500ml (100～150ℓ)	畦間・株間 処理	本葉5葉期以降雑草生育期 ただし収穫28日前まで	3回以内
	ロックス(水和剤)	100～200g (70～150ℓ)	畦間・株間 処理	本葉3葉期以降(雑草草丈15cm以下) ただし収穫30日前まで	1回

※全面散布の場合
は、株元までしっかり
薬剤散布できる
大豆3葉期頃までが
散布適期です。

難防除雑草の防除について

管内では『イヌホオズキ』の発生が増えており、果実(液果)は大豆の汚損粒の原因となります。

また、畦畔等からマルバルコウ(帰化アサガオ類)のほ場への侵入が見られます。帰化アサガオ類は大豆に絡みつくと、大豆を倒伏させ、収穫作業が不可能となる場合もあります。

これらの難防除雑草は生育が早く、また繁殖力が旺盛なため、ほ場内で生育が進むと防除が困難になります。発見したら直ちに防除(手取り、除草剤散布)をしましょう。

※手取りした株は、種子を残さないようにほ場外で処分しましょう。

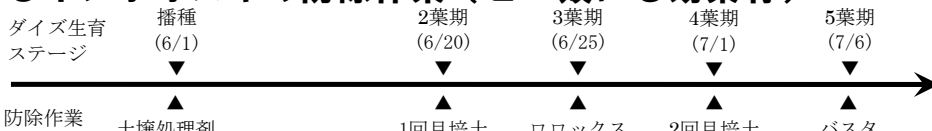


イヌホオズキ
※写真右は幼植物体

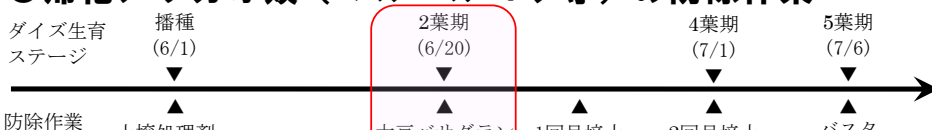


マルバルコウ イヌビユ

○イヌホオズキの防除体系(ヒユ類にも効果有)



○帰化アサガオ類(マルバルコウ等)の防除体系



※大豆バサグランの
散布遅れに注意！！

防除の際は、農薬の使用基準を正しく守るとともに、周辺作物への飛散に注意しましょう